

重量物加工でメリット追求 機械ごとに天井クレーン走らせる

設備はヤマザキマザックに統一 来年1月には「VCN-530」導入へ

「公差±100分の2を狙える精度」が基準 受注ロットは1個、2個が基本



スーパーG1チャック「目押し」

ラフィングでも「抜け」なく「音も静か」
把握力の高さも証明

現場の特長。機械はヤマザキマザック製がほとんどで、ATCにはツリーング60本装着されている。来年3月にはさらに「VCN530」というマシンングセンタを導入する計画だ。ユキワ精工との出会いはおよそ5年前、担当営業の樺氏から「アモで使っていたくないか」との提案に応じ、10本購入したことに始まる。

「ツールの振れを意識

「リーマ加工で、その穴精度はゼロゼロのピンが入らないほど」
スーパーG1チャックの振れ精度に驚嘆

個人創業で「ホップ」らの精密加工部品受注し、平成16年に法人化して「ステップ」を踏んだ「ミリング加工業者」と言うのが現在の社名の由来だ。平成21年に入社した創業者の子息で専務の齊藤将氏は「秋田を中心とするおよそ10社が、努力している。天



スーパーG1チャックの振れ精度の高さを評価する齊藤専務

井クレーンを機械ごとに走らせているのはそのためだ。因みにこれまで200キログラム程度の重量物加工の経験があるという。齊藤専務は、高卒後、汎用機を扱えるようになるため静岡で5年間「修行」した。手で覚えた感覚はNC機を駆使するうえで、幅広く活かしているからに他ならない。

アルミ、鉄、ステンレスといった一般鋼が被削材の主体。ロット数は1個、2個が基本。納期は1週間から2週間。工場は常に改善、改良を促す時間を確保するために、繁忙期以外は、フル稼働状態にはしない方針を採る。「公差±100分の2を狙える精度」基準がこ

「公差±100分の2を狙える精度」基準がこ



工場内の様子。天井クレーンは、重量物加工のメリット追求で活躍する

「ラフィングからチップ交換式に代えて、小径用にも適用している。スーパーG1チャックは、現在50本近くまで増えているが、今後タップ加工以外は、スーパーG1チャックで揃えていく考え」として、来年早々の機械導入に含ませて、30

タップ加工以外はすべて「スーパーG1チャック」に統一へ

年明けには新たに30数本追加購入決定

ステップミル訪問 (秋田県・にかほ市) — 齊藤将専務に聞く —

することがあまりなかった。がリーマ加工でスーパーG1チャックを使ってみると、その穴精度はゼロゼロのピンが入らなかつた。1000分の5を切る振れ精度を実感した。「振れ」に対するインパクトは強烈だった。その一方で、強力な把握力という面での「検証」としてラフィングを掘り込んでみると、抜けがなく、音も静か」と、満足いく結果に。

数本のスーパーG1チャック購入を決定している。齊藤専務は、今年5月に現場を離れ「現場をいかに回すか」に専念。他に会社案内の製作、HP製作、見積もりへの対応、「ジャンプミル」で、社名変更される日も、そう遠くないと見込んでいる。

高精度ツリーングシステム
スーパーG1チャック



精度をとことん
突き詰めると、
コレット式に辿り着く



ユキワだけ精度を
保証！
しています。

YUKIWA

ユキワ精工株式会社

スーパーG1チャック
<http://www.yukiwa.co.jp/>



本社・工場 / 〒947-0052 新潟県小千谷市千谷2600番地1 TEL.0258-81-1111(代) FAX.0258-81-1112
営業所 / 東京、名古屋、大阪、中国(上海)、U.S.A.